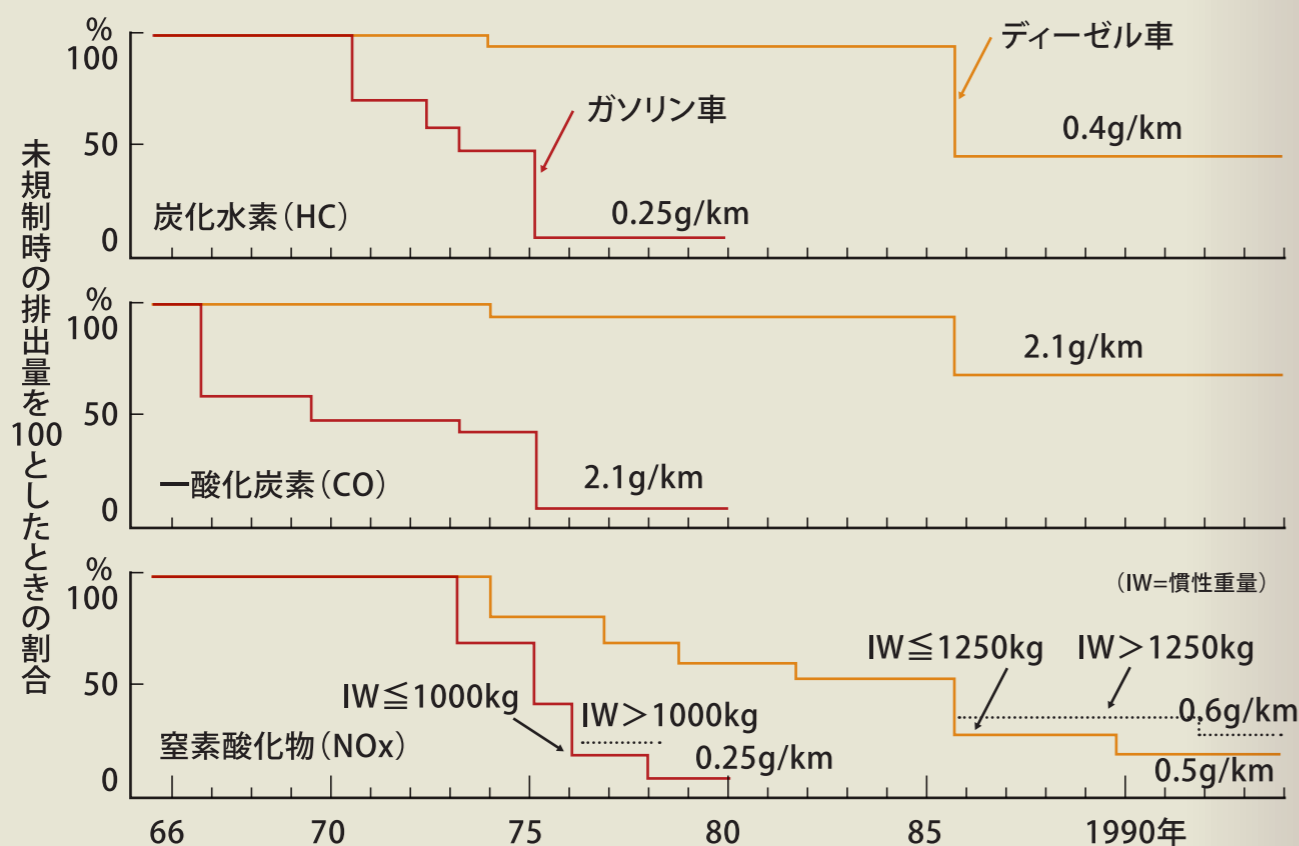


排出ガス低減技術の変遷

1970年代、東京など大都市を中心に大気汚染が社会問題となり、自動車の排出ガスや工場、発電所などからの汚染物質に関する規制が強化される動きが表面化してきました。全米では、1970年12月には、「マスキー法（1970年大気清浄法）」が成立し、その中で自動車の排出ガスに関して規制されることになりました。

日本では、1975年度および1976年度における自動車排出ガス許容限度の設定目標として、「マスキー法」に準じた以下の数値を掲げました。日本の排出ガス規制は、1966年のガソリン乗用車新車の一酸化炭素規制以後、次第に強化され、1978年には世界でもっとも厳しい昭和53年排出ガス規制が実施されました。

日本の排出ガス規制の推移



この結果、メーカー各社は、昭和50年排出ガス規制（1975年）の対応に全力をあげるとともに、昭和51年排出ガス規制（1976年）、昭和53年排出ガス規制（1978年）と3段階の対策を講じなければならないことになりました。とくにトヨタの場合は、車両とエンジンの数が他社と比較して多いこともあって、信頼性の確立が急務となったのです。

TTC（トヨタ・トータル・クリーン・システム）

排出ガス浄化システムの総称は、トヨタグループの総力を結集したという意味を込めてTTCと決定し、トヨタの排出ガス対策に取り組む姿勢をアピールしました。



世界一厳しい規制をクリアするために自動車メーカーは有害な成分を減らす技術開発を懸命に行い、きれいな空気を取り戻したんだね。



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.